

る伊勢原市最大の観光イベント「第51回伊勢原観光道灌まつり」で、ハイライトの鷹狩り行列の太田道灌役に、お笑いコンビ・千原兄弟の千原せいじさん

北条政子に しずちゃん



はいず原
れも伊勢
市提供

市商工観光課によると、道灌、政子役ともお笑い芸人は初めて。「市外の若者を呼び込む人選にした」としている。

江戸城築城で有名な道灌は当地で非業の死を遂

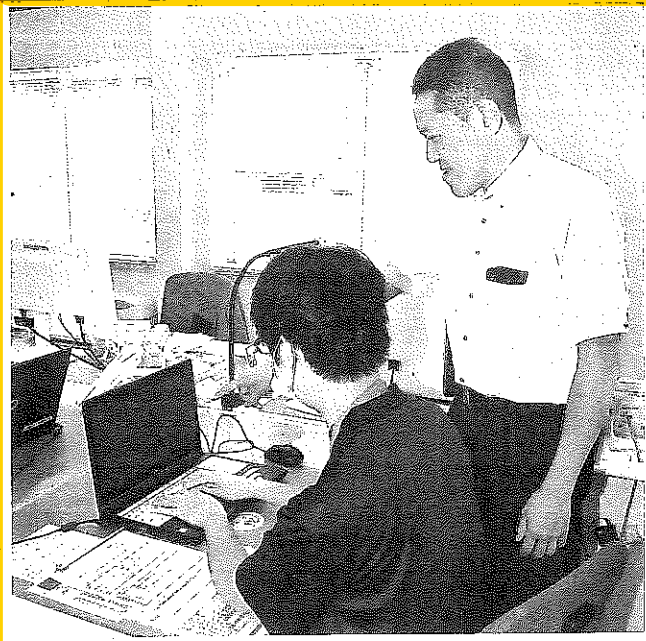
10月14日 鷹

だ。行列は14日午後0時50分頃から始まり、駅前通りの2・4きを道灌役は馬、政子役は輿にそれぞれ乗って練り歩く。2日間で例年約30万人の観光客が訪れる。

障害者雇用し業務拡大

綾瀬の会社 市職員の名刺作成受注

綾瀬市吉岡東の金属加工「栄和産業」（伊藤正貴社長）が、知的障害者を積極的に雇用し、業務を拡大している。現在7人の障害者が在籍し、約150人の健常者らともづくりの技術を磨いている。



同社はバスの行き先表示機の枠や、シヨベルカーのエンジンフードなどを製造。1枚の鉄板をプレス機にかけて立体的に仕上げる「深絞り」という技術に強みを持つ。チームワークを必要とする大型製品で難易度も高いため、「障害者には難しいと考えていた」と伊藤社長は振り返る。

ところが、2014年秋に特別支援学校から知的障害者を実習生として受け入れると、「明るく素直で指導すればきちんと覚える。健常者と変わらない」と見方が変わったという。

「障害者をサポートし過ぎるのはよくない」と話す伊藤社長（右）（綾瀬市の栄和産業）

15年からパート枠で初雇用し、16年から正社員として軽度、中度の障害者を採用した。溶接作業や仕上げ作業などに従事し、社歴の浅い健常者の社員を指導することもあるという。

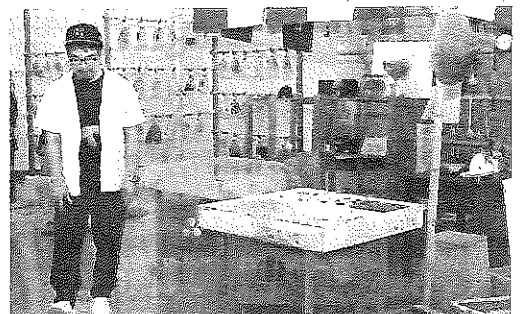
「障害者は仕事ができないのでなく、挑戦する機会が与えられていなかっただけだとわかった。一人前になりたいという思いは強い」と伊藤社長。実習生も近隣の七つの特別支援学校などから年間10人以上受け入れている。

17年は初めて重度の男性をパートで採用した。製品に付ける荷札の制作担当だったが、自宅でパソコン入力の練習を行っていたことを知り、簡易ソフトを使って名刺作成事業を始めた。すると市役所が支援の手を挙げ、今春は古塩政由市長ら100人以上の職員が名刺を発注した。

同社は、さらなる障害者

金魚絵師展 5万

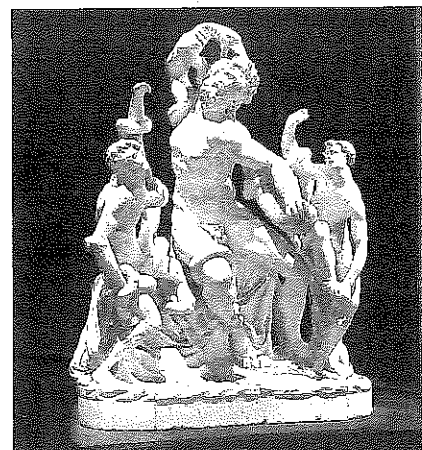
平塚市美術館 過去最



平塚市美術館で開かれていた「金魚絵師 堀隆介展 平成しんちう屋」の入場者数が5万人を

超え、同美術館 入場者を集めて 展覧会は7月

ミケランジェロと理想の身体 私の1点



棚橋弘至さん (プロレスラー)



ウィンチェンツォ・デ・ロッシ「ラオコーン」1884年頃 ローマ、個人蔵、ガッレリア・デル・ラオコーン寄託 撮影・木奥恵三

必死の

ギリシャ神話の女神の怒りを買って、罪で子どもと共に殺されたトロイのラオコーン。その様子が「プロレス技「ロイスト」をかけたらよ。技が決まるので、腕を首に巻きながら、もつていない。

躍動する全身の極端に曲がった右必死の抵抗が伝わ